

## 「更級日記といちはら」のこと

『更級日記』は平安時代中頃、**菅原孝標女(すがわらのたかすえのむすめ)**によって記された回想録です。冒頭、上総国司である父の任期が終わり、上総国府のある市原市から平安京へと帰る場面が、寛仁 4 年(1020年)であり、2020年は菅原孝標女が帰郷して千年の節目に当たります。そこで、孝標女が過ごした当時の市原がどのような様子だったのか、わかりやすく解説します。

Ⅰ3時30分~ | 5時

場所:市原市立中央図書館(市原市更級 5-1-51)

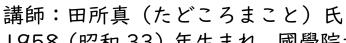
2階 視聴覚ホール

申込:10月1日(火)から

中央図書館に電話(TEL 0436-23-4946)

または窓口で申込 ※ 無料

定員: 先着50名





1958 (昭和 33) 年生まれ。國學院大學文学部史学科日本 史学専攻卒業。1982 (昭和 57) 年、市原市教育委員会入 職。市原市埋蔵文化財調査センター所長、市原市立中央図 書館館長補佐を歴任。日本考古学協会・国史学会会員。主 な著作に「幻の国府を求めて―安房国・上総国」(『幻の国 府を掘る 東国の歩みから』所収)、「房総三国の国府跡」 (『東国の古代官衙』所収)。

上総国府のまち

いらはら

申込・問合せ 市原市立中央図書館

TEL 0436-23-4946